

要求水準書 別添1

階	室名	計画面積	要求する水準
1階	モーターボート検査場	1,150.50 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットへの出入口に配置する。 ・南北の奥行きは16m以上確保する。 ・現面積より拡大する。 ・ボート54艇（艇間距離250mm以上）及び救助艇3艇のスペースが必要。（ボート総数は65艇） ・防潮堤まで庇屋根を設置する。（但し、防潮堤には接しないこと） ・重量物吊り下げ用ホイストを天井部に設置する。 ・床洗い可能とし、オイルトラップを設置する。
	ボート格納庫	184.22 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーターボート検査場に隣接した位置に配置する。 ・25艇以上収納できる大きさとする。（艇間はほとんど要らない）
	ピットマン控室	12.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員7～8名の控室。 ・仮設時は水面から離れた配置でもよい。
	ボート作業場	60.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・検査場や艇庫近くに配置する。 ・修繕作業時に粉塵が発生するため、換気をしやすい外壁沿いに配置する。
	研磨塗装室	16.20 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ボート作業場に隣接して配置する。 ・換気をしやすい外壁沿いに配置する。
	ボート洗い控室	20.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーターボート検査場に隣接した位置に配置する。
	検査員室	22.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 海上出入口から奥のピットが見渡せる位置、モーターボート検査場とモーター整備場を見渡せる位置に配置する。 ・周壁はガラスを用いて視界を確保する。 ・監視カメラ操作卓を設置する。
	部品庫	62.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備室に隣接して配置する。 ・中を見渡せるよう開口部を設ける。 ・一角をボート整備士の控えスペースとする。
	機械工作室	60.06 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備室に隣接して配置する。 ・中を見渡せるよう開口部を設ける。
	モーター格納庫	101.70 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備室に隣接して配置する。
	モーター整備場	250.76 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーターボート検査場に隣接して配置する。 ・床洗い可能とし、オイルトラップを設置する。 ・検査員室で操作・監視できる監視カメラを設置する。 ・ファンサービス向上のため、2階見学通路から選手の作業が見えるように工夫をする。
	プロペラ調整室	70.30 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備室に隣接して配置する。 ・現状は狭小であり、倍程度の面積を要する。 ・ファンサービス向上のため、2階見学通路から選手の作業が見えるように工夫をする。
	計器電気室	19.22 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備室に隣接して配置する。 ・中を見渡せるよう開口部を設ける。
	レスキュー要員控室	16.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・救助艇のレスキュー要員の控室。 ・ピットに近い位置へ配置する。
	掃海艇控室	17.28 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員4名程度の控室。 ・水面から多少離れた配置でも良い。
整備員控室	73.87 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーター整備場が見える位置に配置する。 ・控室内に応接スペースを設ける。 ・整備場の監視カメラ操作卓を設置する。 ・火災報知機の受信機を設置する。 ・インターフォンの親機を設置する。 	

階	室名	計画面積	要求する水準
1階	整備ロッカー室	23.01 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 整備員控室の近くに配置する。 15人程度のロッカーと、整備職員の休憩スペースを確保した大きさとする。
	後方通路	48.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 選手以外の関係者の動線として設置する。
	給湯室	4.62 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 整備職員用の給湯室。
	医務室	46.75 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 事故時に迅速な対応が必要なため、海上出入口に近い位置とする。 救急車が近くまで容易に進入できる位置とする。 前検日に選手が検査を受けるため、ロッカールームから容易に行ける位置とする。 ロッカーは10名分程度必要。
	多目的室	34.65 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 多目的に使用可能な室として整備する。 使用例) <ul style="list-style-type: none"> 選手がストレッチを行うスペース。 ビックレースの際の臨時記者スペース。
	食堂	67.65 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 選手エリアに近い1階に設置する。
	厨房	16.50 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 利用が少ないため、効率化を図る。
	準備室	12.15 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 厨房横に設ける。 従事者専用入口を設ける。
	厨房トイレ	2.70 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 従事者専用トイレを設ける。
	選手控室	172.62 m ²	<p>現在は、更衣・休憩・ミーティングルーム機能を全て兼用して使用しているため、機能別にロッカールームと控室を別室にし、1階に配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 控室は、前検説明やモーター抽選のミーティングルームとして60名程度を収容できる大きさとする。 控室は、稼働間仕切りを設け、選手入館時の手荷物検査室に使える様にする。 全体を選手専用エリアとして、記者等が入れないように配慮する。
	入場前室	19.14 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 選手の手荷物検査前の入場口として設置する。
	選手ロッカールーム	280.90 m ²	<p>現在は、更衣・休憩・ミーティングルーム機能を全て兼用して使用しているため、機能別にロッカールームと控室を別室にし、1階に配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ロッカールームは浴室・保管室に近接して配置する。 ロッカールームは開催レースによって男女比が変わるため、稼働間仕切りを設け、部屋割りをフレキシブルに対応できるようにする。部屋割りの考え方は基本設計図に倣う。 移動・分割できるタタミを設ける。 全体を選手専用エリアとして、記者等が入れないように配慮する。
	浴室	27.00 29.70 m ²	<p>現在は男女別に大浴槽＋シャワーが設置されているが、プライバシー保護やメンテナンス性向上の観点から、ユニットシャワー及びユニットバスとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> レース中の落水選手のために、男女ともに各3室の追炊機能付のユニットバスを設置する。 ユニットシャワーを男女ともに各3室設置する。給湯器は業務用マルチ連結型とし、即出湯ポンプを設置する。 ユニットバス内にもシャワーを設置する。 男女別にロッカールームから直接入れる動線と、保管室から直接入れる動線を確保する。
	洗濯室	46.53 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥室に近接して設置し、選手動線に配慮する。 洗濯機やシンク、ガス乾燥機を整備する。 従事者の休憩できるスペースを設ける。

階	室名	計画面積	要求する水準	
1階	乾燥室	49.35 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯室に近接して設置し、選手動線に配慮する。 ハンガーパイプや木製棚を設置する。 	
	保管スペース	130.79 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯、乾燥後の衣類の保管場所であり、ロッカーを乾燥室附近に設置する。 また、カポック・ヘルメットを収容する棚を設置する。 ヘルメット専用の乾燥機・洗い場を設ける。 洗濯室・乾燥室・浴室・選手ロッカールームなど、選手の動線を考慮して、近接して配置する。 	
	選手通路	20.59 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 保管スペースに連絡する。 	
	喫煙室(1)	16.50 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止に配慮した構造で東西に分散して配置する。 	
	喫煙室(2)	2.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止に配慮した構造で東西に分散して配置する。 	
	男子トイレ(1)	29.94 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 小便器4ケ、大便器4ケ、手洗2ケを設置する。 	
	女子トイレ	22.20 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 大便器4ケ、手洗2ケ、パウダーコーナーを設置する。 	
	男子トイレ(2)	16.74 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 整備職員用で男子のみとする。 小便器2ケ、大便器2ケ、手洗1ケを設置する。 	
	男女トイレ	7.73 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーフリーのトイレとし、各室に大便器、コンパクト手洗いを設置する。 	
	消火ポンプ室	11.85 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 屋内消火栓用のポンプ室として設置する。 	
	階段(1)	30.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> W階段とし、一般の見学者とその他の関係者と動線を完全分離する。(階段中央は壁) 	
	階段(2)	12.22 m ²		
	倉庫(1)	8.55 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 選手控え室用として配置する 	
	倉庫(2)	19.22 m ²	<ul style="list-style-type: none"> モーター整備場に隣接させて配置する 	
	倉庫(3)	17.68 m ²	<ul style="list-style-type: none"> モーター整備場に隣接させて配置する 	
	倉庫(4)	23.76 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ボート格納庫に隣接させて配置する 	
	倉庫(5)	19.75 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 配置に制限は無いが省かないこと 	
	支部選手更衣室	7.04 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 訓練走行する支部選手の更衣スペースとして設置する。 モーターボート検査場以外のエリアを原則通過しない位置に設け、動線を分離する。 男女各10名のロッカーとユニットシャワーを各1室設ける。 	
	2階	競技本部	44.10 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 競走水面全域およびピットが見渡せる2階に設置する。 記者等が容易に入れない専用エリアとする。 機器類が多く移設が難しいため、移設は1回とする。 工事中に大時計などに視認障害が発生する場合は、カメラ及びモニタを設置するなどの対策を行う。 管理室との仕切りはガラス等
		管理室	40.32 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 記者等が容易に入れない専用エリアとする。
EPS		8.09 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 管理室付近に設置する。 	
スタジオ		37.86 m ²	<ul style="list-style-type: none"> モニター室と隣接して設置する。 各室間に配線用の建具を設置する。 1階からの選手動線を確保する。 	

階	室名	計画面積	要求する水準
2階	記者室	23.10 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオと隣接して設置する。 ・各室間に配線用の建具を設置する。 ・閉場時間や休催日の常駐記者等の単独動線を確保する。
	モニター室	23.10 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・記者室、スタジオと隣接して設置する。 ・各室間に配線用の建具を設置する。
	インタビュールーム(1)	30.61 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・共同インタビューや表彰式を行える室。2分割利用もできるよう稼動間仕切を設置する。
	インタビュールーム(2)	30.61 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・共同インタビューや表彰式を行える室。2分割利用もできるよう稼動間仕切を設置する。
	多目的室	32.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・見学利用するファンの待機スペース等多目的に利用する部屋として設置する。
	見学者通路	189.83 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は見ることのできない整備エリアをファンが見学できる専用通路として設置する。
	電気室・発電機室	70.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・津波対策の為、2階に設置する。
	コンプレッサー室	12.70 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・各室に供給するコンプレッサーを設置する室。コンプレッサーを要する室は、基本設計図諸元表を参照。
	給湯室(1)	4.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・競技本部・管理室の競技審判系のエリアの給湯室。
	給湯室(2)	4.30 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・記者関係者のエリアの給湯室。
	倉庫(1)	7.90 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・競技本部・管理室の競技審判系のエリアの倉庫。
	倉庫(2)	7.59 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・記者関係者のエリアの倉庫。
	物入	1.80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・同上。
	喫煙室	4.19 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・競技審判系と記者関係者エリアにて共用する。
	通路(1)	26.60 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・競技本部・管理室の競技審判系のエリアの通路。階段(1)以降エリアを記者系と分ける。
	通路(2)	60.65 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 記者関係者系のエリアの通路。階段(1)以降エリアを競技審判系と分ける。このエリアは選手も利用する。(一般見学者は入れない)
	男子・女子トイレ(1)	15.01 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・競技審判系と記者関係者エリアにて共用する。
	男子・女子トイレ(2)	13.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・一般見学者専用のトイレ。
	階段(1)	27.75 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・W階段とし、一般の見学者とその他の関係者と動線を完全分離する。(階段中央は壁)
	階段(2)	10.90 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・
別棟	守衛室	8.28 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・整備棟入口付近の死角の少ない位置に配置する。 ・トイレ及び湯沸設備を設置する。
別棟	燃料庫	50.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・モーターボート検査場に近接した位置に設置する。 ・給油車両が近接できる位置とする。 ・携行缶への給油口を設ける。 ・検査場までの通路に簡易な雨よけの屋根を設ける。
別棟	1階) 機材保管倉庫	40.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外倉庫として設置する。
	2階) 作業室	40.00 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティライン外から利用できる様、外部階段・管理扉を設ける。 ・トイレ及び湯沸設備を設置する。